

岩手競馬の発売実績等について

令和4年12月14日
財 政 部

1 令和4年度第11回盛岡競馬まで（通算第17回 4/3～11/22 102日間）の発売成績等
(1) 発売額の計画達成状況等

(単位：百万円、%)

区 分	岩手競馬発売額				広域受託 発売額	J-P L A C E 発売額
	自場発売	広域委託 発売	インター ネット発売	計		
計画額 (a)	4,124	2,842	49,000	55,966	2,558	2,739
実績額 (b)	4,294	3,068	50,813	58,175	2,567	3,007
差額 (b-a)	170	226	1,813	2,209	9	268
達成率	104.1	108.0	103.7	103.9	100.4	109.8

(2) 発売額の前年度比較

(単位：百万円、%)

区 分	発 売 額 (通算第17回まで)		
	令和4年度	令和3年度	前年度比
自場発売	4,294	4,331	99.1
広域委託発売	3,068	2,645	116.1
インターネット発売	50,813	43,831	115.9
合 計	58,175	50,807	114.5

《参考》JBC2022 (11/3) 開催に係る発売計画額の達成状況

(単位：百万円、%)

区分	自場発売	広域委託 発売	インター ネット発売	計
計画額 (a)	127	301	6,561	6,989
実績額 (b)	179	391	6,397	6,967
差額 (b-a)	52	90	△ 164	△ 22
達成率	141.0	129.8	97.5	99.7

注1 端数調整等により、計数に異同が生ずる場合がある。

2 令和4年度の収支見通し（第9回盛岡競馬（4/3～10/25）までの発売実績を反映）

- 年間の収支見通しは、第9回盛岡競馬までの発売収入がすべての区分で計画を上回って推移したことにより、今後において必要となる投票端末新紙幣対応等改修、水沢競馬場厩舎整備、馬資源確保対策（賞典費）及び喫緊の施設・設備の修繕等に要する費用を計上したうえで、年間収支差（純利益）を300百万円確保できる見込みである。

（単位：百万円、％）

区 分		5月 現計画額 (補正第1号) (ア)	見直し後 計画額 (補正第2号) (イ)	増減額 (イ-ア)	増減比 (イ-ア)/ア	増減の主な内容
発岩 売手 収競 入馬	自場発売	5,184	5,319	135	2.6	インターネット等発売収入 の増
	広域委託発売	3,303	3,454	151	4.6	
	インターネット 発売	55,763	57,895	2,132	3.8	
	計 (A)	64,250	66,668	2,418	3.8	
その他収入 (B)		3,453	3,463	10	0.3	
収入合計 (C= A+B)		67,703	70,131	2,428	3.6	
売上原価 (D)		55,698	57,564	1,866	3.4	発売額の増に伴う払戻金等 の増
総利益 (E= C-D)		12,005	12,567	562	4.7	
販売費及び 管理費 (F)		11,693	12,255	562	4.8	投票端末新紙幣対応等改 修、水沢厩舎整備、馬資源 確保対策等
営業損益 (G= E-F)		312	312	0	0.0	
営業外費用 (支払利息) (H)		1	1	0	0.0	
経常損益 (I= G-H)		311	311	0	0.0	
特別 損益	特別利益 (J)	0	0	0	0.0	
	特別損失 (K)	11	11	0	0.0	
損益 (L= I+J-K)		300	300	0	0.0	

3 令和3年度の損益の状況

- 令和3年度の岩手競馬は、「22開催・130日間」を予定していたが、第8回水沢競馬の1日、及び第9回水沢競馬の3日間については降雪による走路状態の悪化により、開催取りやめを余儀なくされる事態となった。このため、第10回水沢競馬に1日を追加実施した。
- 将来にわたる安定的な事業運営が確かなものとなるよう、経営体質の強化に取り組むとともに、馬資源の確保に努めながら、ダートグレード3競走等を施行した。また、発売額の増加策として令和3年度から日・月・火曜日開催を固定化したほか、若年層を中心とした新たなファン獲得のための取組、競馬事業を通じた岩手の観光や物産等の魅力の発信など、地域社会にも貢献しながら発売額の確保に努めた。
- その結果、発売額は、578億4,400万円となり、4億7,200万円の当期利益を確保した。

(単位：百万円、%)

区 分		令和2年度 決算額 (ア)	令和3年度		
			決算額 (イ)	増減額 (イ-ア)	増減割合 (イ/ア*100)
発 岩 売 手 収 競 入 馬	自場発売	4,454	5,181	727	116.3
	広域委託発売	2,323	3,106	783	133.7
	インターネット 発売	47,051	49,557	2,506	105.3
	計 (A)	53,828	57,844	4,016	107.5
その他収入 (B)		1,313	1,996	683	152.0
収入合計 (C= A+B)		55,141	59,840	4,699	108.5
売上原価 (D)		46,719	50,008	3,289	107.0
総利益 (E= C-D)		8,422	9,832	1,410	116.7
販売費及び 管理費 (F)		8,093	9,348	1,255	115.5
営業損益 (G= E-F)		329	484	155	147.1
営業外費用 (支払利息) (H)		4	1	△ 3	25.0
経常損益 (I= G-H)		325	483	158	148.6
特別 損益	特別利益 (J)	0	0	0	—
	特別損失 (K)	11	11	0	100.0
損益 (L= I+J-K)		314	472	158	150.3

・岩手県競馬組合から構成団体への償還額

- 令和3年度の年間収支差（純利益） 471,822,697円 ①
- 「①」から1億円を差し引いた額 371,822,697円 ②
- 「②」の1/2の額 185,911,349円 ③
- 「③」の分賦割合による配分（1円未満は四捨五入。）
 - ・ 岩手県 185,911,349円×5.5/10（分賦割合）＝102,251,242円
 - ・ 奥州市 185,911,349円×2.5/10（分賦割合）＝46,477,837円
 - ・ **盛岡市 185,911,349円×2.0/10（分賦割合）＝37,182,270円**

- ・ 令和5年盛岡市議会3月定例会に、盛岡市岩手競馬経営改善推進資金貸付基金条例の改正案を提案し、基金の額について、令和4年度の償還額と同額を減額する予定。

【新しい岩手県競馬組合改革計画における元金返済ルール】

- 最終利益（純利益）が、
 - ・ 1億円以下の場合 ⇒ 全額を競馬組合の運営資金として内部留保する。
 - ・ 1億円を超え5億円以下の場合 ⇒ 1億円を超える額の2分の1を構成団体に返済する。
 - ・ 5億円を超える場合 ⇒ 前記に加え、5億円を超える額の全額を構成団体に返済する。